

連合徳島ユースターNEWS

(2022年度 第3号)



去る2022年9月27日に、安倍晋三・元内閣総理大臣の国葬儀が執り行われ、その別れを惜しみ、会場外は整然と途切れることなく数kmにもおよぶ献花の列（極めて少数の、場も弁えず、騒音を撒き散らす、非常識な方々もいたようですが・・・）、そして、若年層の有志が8月下旬に立ち上げたデジタル献花プロジェクトには、約1ヶ月の受付期間に50万人以上からのデジタル献花とメッセージが寄せられました。

また、諸外国のリーダーや、様々な立場の方々から、生前の功績を称え、その死を悼むあまたのメッセージが寄せられました。改めて、我が国は偉大なリーダーを失ったのだと実感したのではないのでしょうか。

SNS等に溢れる、そういった様々な声やエピソード等と、マスメディア(特に日本国内)から繰り返し聞こえてくる、安倍晋三氏の像があまりにもかけ離れていると感じるのは私だけでしょうか。

故人を手放して称賛するものでもありませんし、何が正しいかの断定はしませんが、放送法や各種倫理規定等に則った、特定の見方に偏らない、信頼に値する報道姿勢を、各種マスメディアには期待します。

国葬儀の中でなされた菅義偉・元内閣総理大臣の追悼の辞、10月25日の衆院本議会の冒頭でなされた野田佳彦・元内閣総理大臣の追悼演説は、同じ立場を経験した者だからこそ理解できる深い考察と、故人への敬意に満ちた、聞く者の心を打つ素晴らしい内容だったと思います。

青年委員会としても、この「言葉の力」を再認識し、今後の活動の中でも大事にしていきたいと考えています。

【経過報告】

新型コロナの感染状況を見ながら、創意工夫しつつ、各種活動の活性化に努めております。

以下、前回のユースターNEWSでの報告以降の活動につき、簡単にご報告いたします。

その中でも今回のユースターNEWSでのトピックスとして、2022年10月9日の「合同研修会(テーマ：犯罪被害がもたらす影響と支援)」、11月26日～28日の2泊3日で開催された連合四国ブロック主催の「平和学習in沖縄」レポートを掲載いたしましたので、ぜひ、ご一読ください。

[①「新中小労働対策本部・労働安全衛生センターとの合同研修会」(2022年10月9日)]

●「犯罪被害がもたらす影響と支援」をテーマとし、徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 内海 千種 教授による講演(対面もしくはZoomのハイブリッド方式)をいただきました。

青年委員会からは3名が参加し、研鑽を深めました。[詳細はレポートを参照ください]

[②「NPO法人クレエールとの研修方針等に係る打ち合わせ」(2022年10月13日)]

●2022年度の春季学習研修会で講演等をいただいたNPO法人「クレエール」を訪問し、以後の関係性構築および研修方針等につき、原田理事長と打ち合わせを実施しました。

[③「青年委員会 第4回幹事会(2022年10月31日)】

●次年度計画を含む今後の活動計画、2023総会に向けてのスケジュール確認等を行いました。

[④「平和行動in沖縄(2022年11月26日～11月28日)】

●連合四国ブロックの青年・女性委員21名の規模で沖縄県内各地において開催されました。[詳細はレポートを参照ください]

[⑤「青年委員会 第5回幹事会(2022年11月29日)】

●2023総会に向けての議案書・任務分担・役員体制等の確認、総会以降に実施予定のボランティア活動他の情報連携を行いました。

[文責:四国電力労働組合 小畑 文人]